

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	峰の原高原クロスカントリーコース	所在地	大字仁礼3153-654			
施設分類	スポーツ・観光系施設	所管課	商業観光課			
財産区分	行政財産	延床面積（㎡）	205			
居住誘導区域	非該当	防災関連施設	非該当			
設置根拠	須坂市峰の原高原クロスカントリーコース条例	設置の目的・経緯	体育の振興及び峰の原高原の活性化。		交通アクセス	須坂駅から車で約30分
事業内容	施設の維持管理・運営	貸付の有無	有	芝コース・全天候型トラック・全天候型トラック		
管理運営の状況	指定管理	委託内容	維持管理・運営			
備考（その他特記事項）						

2 建物の状況

階数 （主たる建物）	地上	1	地下	-	建築面積	204.54	延床面積	205
構造 （主たる建物）	W造				建築年度 （主たる建物）	2004	築年数 （主たる建物）	20
取得価格	57,040,000				耐震化の状況		新耐震基準施設	
帳簿原価	57,040,000				バリアフリー対応			
減価償却累計額	45,808,799				省エネルギーの対応状況			
老朽化率	80%				施設の劣化状況			

3 施設コスト

単位（千円）

費用		2022	2023	2024	3年間の平均値
	人件費				
	委託料				
	光熱水費				
	維持補修費				
	減価償却費	2,335	2,335	2,335	2,335
	指定管理料	5,500	5,500	6,050	5,683
	その他				
費用合計		7,835	7,835	8,385	8,018

収入	利用料等収入				
	国庫補助金等収入				
	その他				
収入合計		0	0	0	0

収支	-7,835	-7,835	-8,385	-8,018
利用者一人当たりコスト	0.48	0.42	0.44	0.45

修繕履歴	金額		内容	
改修履歴	金額		内容	
今後10年間での大規模改修費用				

4 施設利用状況

利用対象	どなたでも	
開館時間	平日	5時から19時（4月から11月）
	休日	
休館日	12月から3月	
駐車場の有無	有	

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
年間利用者数	16,232	18,573	18,913	17,906	6%
年間利用可能人数					
利用率					
（参考）年間目標利用人数	10,000	16,000	19,000	15,000	
年間利用時間					
年間利用可能時間					
稼働率					

公共施設評価結果シート

施設名施設名称	峰の原高原クロスカントリーコース
---------	------------------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
合計		2	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
合計		2	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	C	-1	75%以上100%未満
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
バリアフリー	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴	B	1	必要な改修がある程度行われている
合計		1	

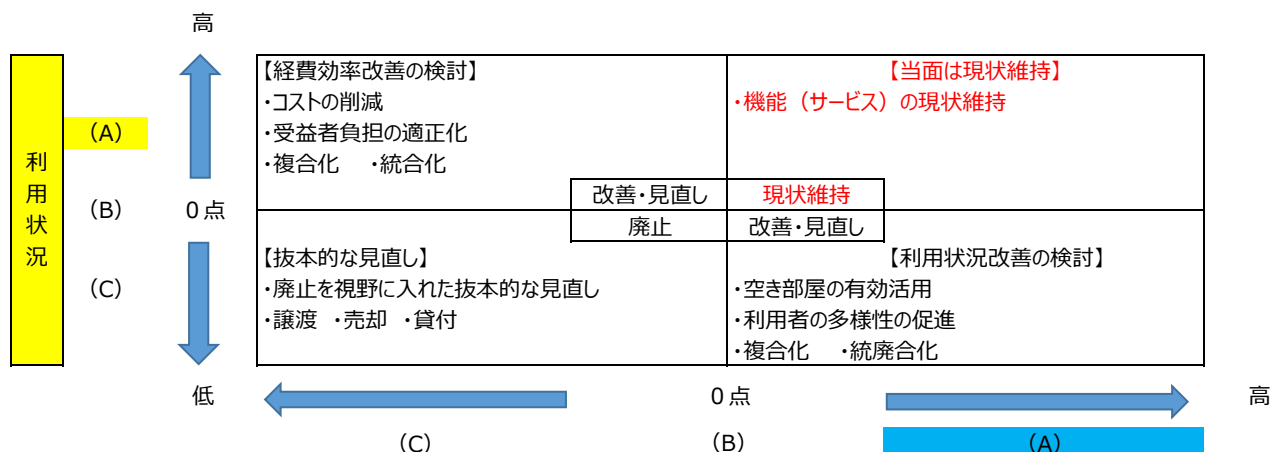
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	2
縦軸	必要性による評価	2
合計点数		4

【当面は現状維持】



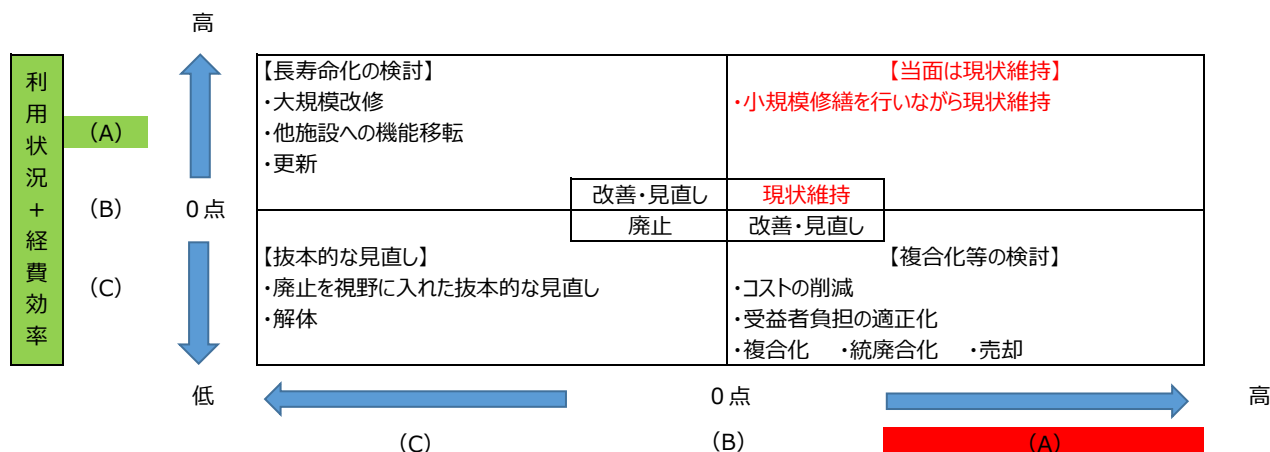
経費効率

評価	説明
A	評価結果の集計点が、1点以上
B	評価結果の集計点が、0点
C	評価結果の集計点が、-1点以下

3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	1	横軸
縦軸	必要性和経費効率からの評価	4	縦軸
合計		5	

【当面は現状維持】



建物性能

評価	説明
A	評価結果の集計点が、1点以上
B	評価結果の集計点が、0点
C	評価結果の集計点が、-1点以下